

## 取扱説明書

22B4

原工務店製のZ型・L型金物、コの字型の金物お買い上げ、誠にありがとうございます。下記注意事項をよくご理解の上、施工、ご使用頂きますように、お願い申し上げます。

### 安全上のご注意 必ずお守り下さい。

絵表示について

**警告!** 人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。

**注意!** 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

してはいけない内容(禁止事項)です。

実行しなければならない内容(強制事項)です。

**警告!**

■本製品および取り付けした水平部材に、人は絶対に乗ったりぶら下がったりしないでください。  
落下によって身体に重大な危険性があります。  
 本製品は人が乗ることを前提に設計されていません。人の重みで落下、変形する可能性があります。重量物を載せたり、足場、梯子等をかけることもできません。

■布団が落ちた場合に事故が考えられる所には絶対に設置しないで下さい。3階以上の階には設置しない出下さい。  
 かけた布団などが落下した場合の安全性を確保をして下さい。

■サイディング、胴縁、木ずりなどに止めないで下さい。  
 ■仮止めのまま放置しないで下さい。

■布団掛け金物はテンレス庇は必ず躯体に堅固に取り付けてください。  
 必ず柱、梁、胴差など躯体に直接にビスが効く状態で取り付けして下さい。

**建築関係以外のお客様へ**

■取付は専門の業者様にご依頼下さい。  
 本製品の取付はご自分でなさらず、工務店、大工さんなど専門の業者様にご依頼下さい。

**注意!**

■本品は布団掛け、意匠用水平部材の取り付け金物です。手すりの受け材、棚の受け材等、他の用途に使用しないで下さい。

■ボルトの場合はダブルナットなどでゆるみ止めの処置が必要です。手に触れる部分には怪我をしないような処置をしてください。

その他のご注意していただくこと。

◎養生シートは、長期間放置しますと大変めくりにくくなる場合、養生シートの糊で金物がべた付くがあります。養生シートは施工後直ちにはがして下さい。

◎金物上に金属を放置しますともらい錆で、錆びる場合があります。鉄粉、土埃が付着した場合は必ず取り除いてください。付近で溶接、金属切断作業をする場合は必ず養生してください。

◎仕上げ材の上からの取付（後付け）は避けてください。止むを得ず後付けする場合は、ビスの強度と防水について特にご注意ください。

◎※NI-22Bには勝手(右用・左用)と天地(上下)があります。

## 設置の計画について

◎水平部材の寸法はスパンや使用状況を配慮の上で決定して下さい。金物の収まり上、仕上がりで40×100は最低必要です。耐久性の高い樹種の木材を選んで下さい。スパンが1間を越える場合は中間にも金物が必要です。

◎布団掛けとしてご使用の場合は、ご使用方法などを考慮の上、取り付けの位置、高さをご検討下さい。窓枠を使って右図Aのようにお使いの場合ですと窓台と同じぐらいの高さ、単独でかける右図Bの場合ですと少し高めに設置すると布団を掛けやすいです。ただし窓台が高い場合は高い位置に設置しますとかけにくくなります。

◎布団が落下した場合の安全性をご検討下さい。人や車が通る場所や、落ちた場合に事故が考えられる所には絶対に設置しないで下さい。3階以上の場所には設置しないで下さい。

◎意匠用の場合は外観上バランスのよい位置に設置して下さい。

◎Z型金物を伝う雨水で外壁が汚れる可能性が懸念される場合は、NI型をご採用をお勧めします。

仕上げ材の上からの取付（後付け）は避けてください。止むを得ず後付けする場合は、ビスの強度と防水についてご注意ください。特に通気工法の場合は注意が必要です。

## 取付ビス・ボルトについて。(各商品共通)

### 取り付けビス、ボルトの例(一般木造住宅の場合)

#### 建物側

6×60程度のタッピングビスまたは木ねじ

8mmのコーチボルトや貫通ボルトでも固定可能

(通気胴縁、構造用面材などがある場合はビス、ボルトが十分に躯体に十分に効く物を選んで下さい。)

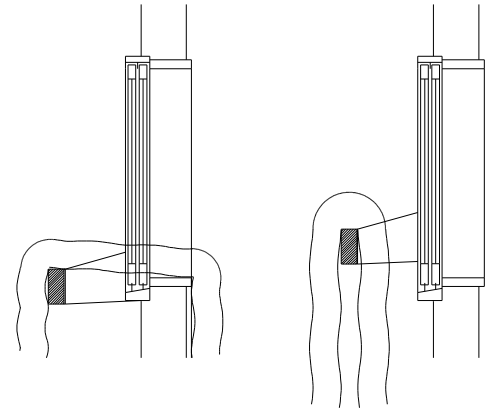
#### 水平部材側

UC型 8mm(M8)ボルトナット or 5mmの木ビス

NI型 5mmの木ビス or 6mm(M6)ボルト、ナットと  
5mmビスの併用

ビスの長さは水平部材の厚みあう物をお選び下さい。

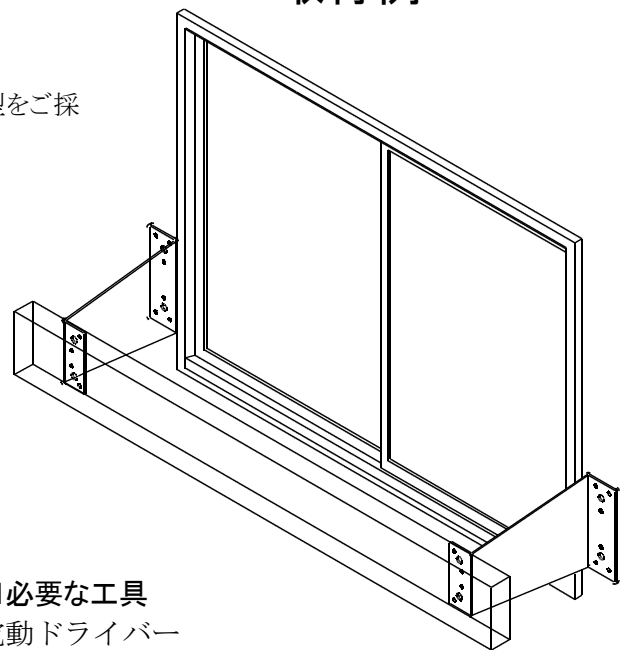
**安全のためボルト、ナットと木ビスの併用をおすすめします。**



図A

図B

## 取付例



### ■必要な工具

電動ドライバー

モンキースパナなど

水平器（水平気泡管） など

### ■その他ご用意頂く物

取付ビス、ボルトなど

防水シート

シーリング材 など

## ステンレス製品の錆びについてのご注意。

ステンレスは錆びにくい金属ですが、全く錆びない金属ではありません。また、製品についた鉄粉や土埃などを放置すると、もらい錆びで錆びる可能性があります。

下記の場所への設置は特に注意して下さい。

○海岸から近く、海からの塩害が予測される地域(特に海岸から2km程度以内の地域)

○工場地帯、激しい大気汚染が予測される地域。特に重油を燃焼している所(工場、ホテル、銭湯など)の近所

○鉄道路線、工場、建築工事現場の近所など、金属粉が多いところ。

取り付け終了後必ず清掃し、金物についた鉄粉、埃などはきれいに落としてください。

夏場は直射日光や高温でシートの糊がべとつき、金物に残った糊で、鉄粉や埃がつく場合があります。

**施工後直ちに養生シートはめくって下さい。**

もし養生シートの糊で金物がべたつく場合は、溶剤や洗剤などできれいに落とす落としてください。

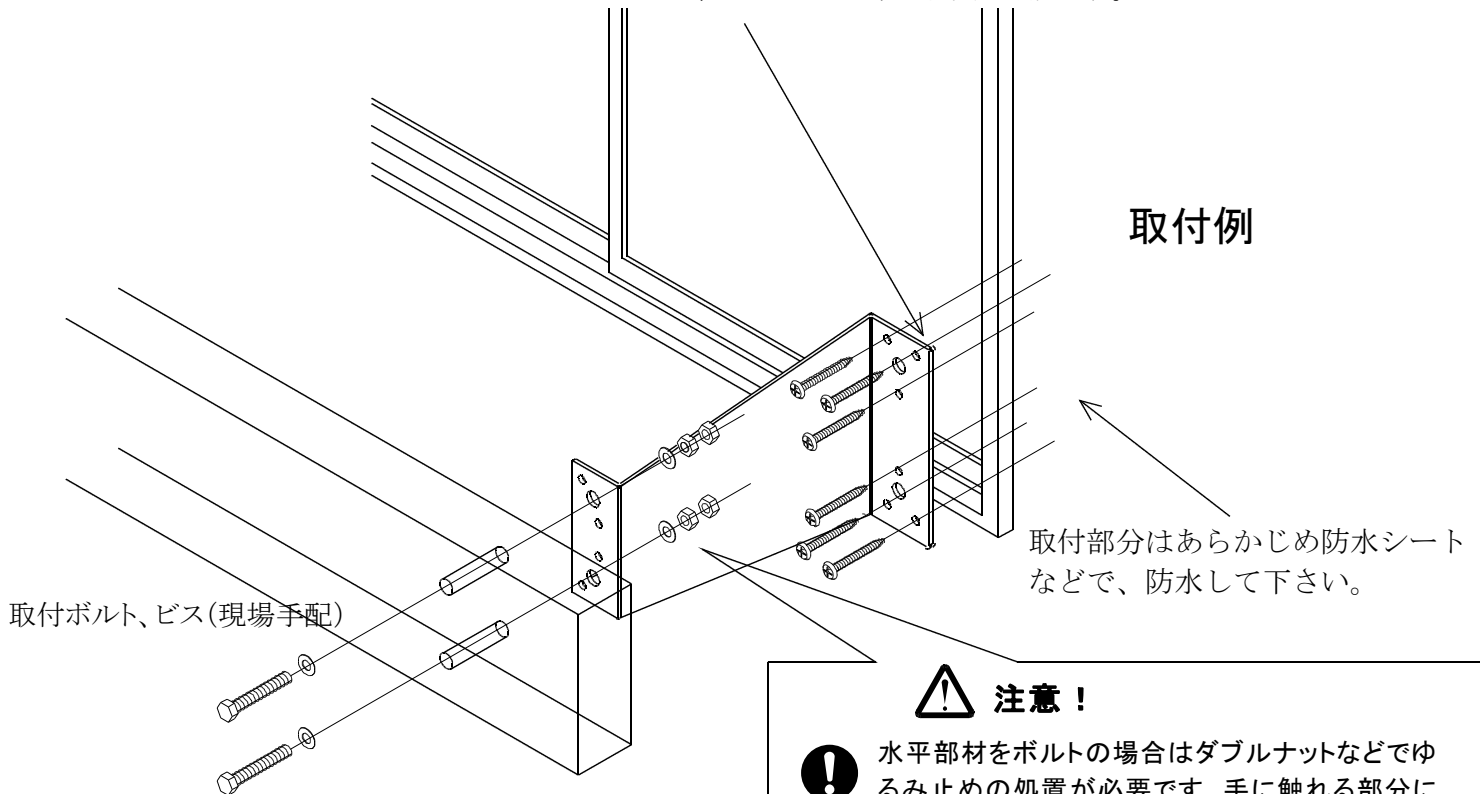
清掃に使った洗剤、溶剤、コンパウンドなどは完全に落としてください。

参考収まり例

**Z型金物UC-22F (26F・30F) の場合**

取付ビス(現場手配)

ボルト、コーチボルト等でも取付可能です。



取付例

取付部分はあらかじめ防水シートなどで、防水して下さい。

**注意！**

水平部材をボルトの場合はダブルナットなどでゆるみ止めの処置が必要です。手に触れる部分には怪我をしないような処置をしてください。

**警告！**

■サイディング、胴縁、木ずりなどに止めないで下さい。必ず柱、梁、胴差など躯体に直接にビスが十分に効く状態に取り付けて下さい。  
■仮止めのまま放置しないで下さい。

**建築関係以外のお客様へ**

■取付は専門の業者様にご依頼下さい。  
取付はご自分でなさらず必ず工務店、大工さんなど専門の業者様に依頼して下さい。

水平部材はビスでも取り付け可能です。

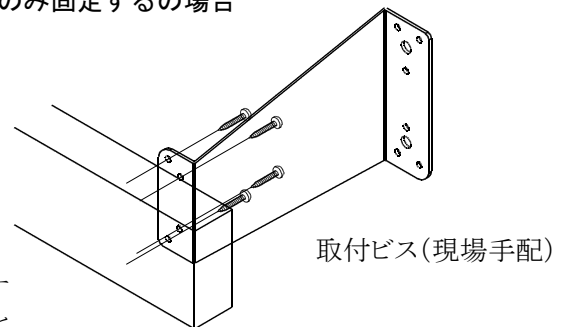
**安全確保のため貫通ボルトと木ビスを併用しての取付をお勧めします。**

木ビスを締める前に木材が割れないようにビスと木材に適した下穴を開けるなど対策して下さい。

**Z型金物(NI-22B) の場合**

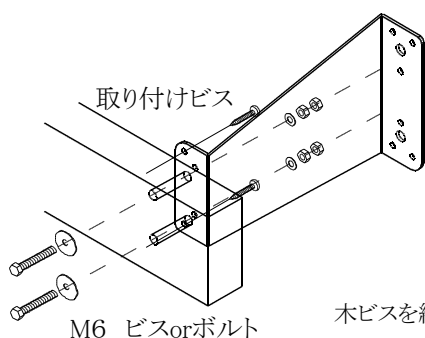
NI型は勝手(左右)天地(上下)があります。水平部材は**安全確保のため貫通ボルトと木ビスを併用しての取付をお勧めします。**

木ビスのみ固定する場合



中央部の2本が6mmの穴なっています。取付ビスは5mm以上で頭の大きなビスを御用意下さい。

木ビス、貫通ビス、ボルト併用の場合

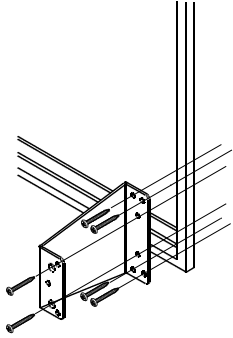


NI型で貫通ビス+ナットで固定する場合は中央部の2本をM6ビスとナットで固定して下さい。木材側のワッシャーは外形が15~20mmの大きな物を使って下さい。

木ビスを締める前に木材が割れないようにビスと木材に適した下穴を開けて下さい。

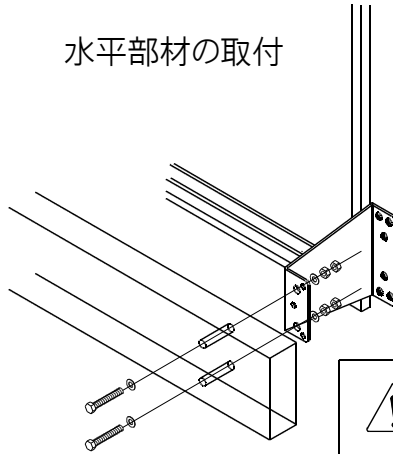
## コの字型金物(UC-14C)の場合

### コの字型金物の取付



長いビット、継ぎ足しビットなどを使って、水位部材取り付け用のボルト穴にビットを通し取り付けビスを締め付けてください。

### 水平部材の取付



水平部材は、ボルトとナットで固定して下さい。  
(ビスでの締め付けは間隔が狭く困難です。)



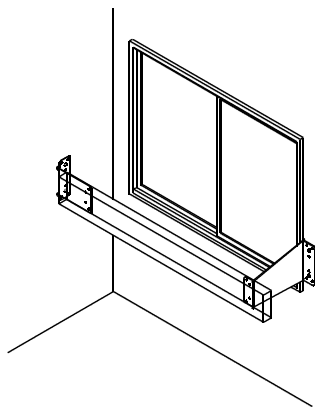
### 注意！



ダブルナットなどでゆるみ止めの処置が必要です。手に触れる部分には怪我をしないような処置をしてください。

## L型金物(UC-L15G/NI-L15E)の場合

L型金物は入り隅用の金物です。  
Z型金物と組み合わせて使います。

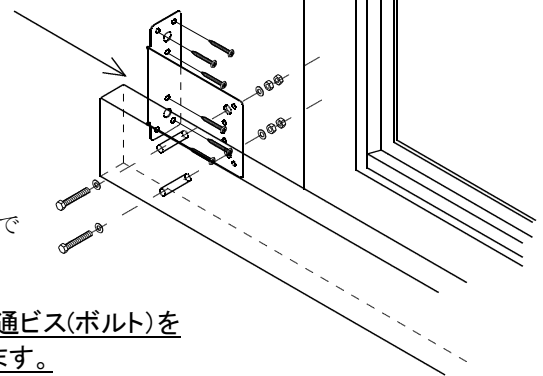


取付例

取付ける部分はあらかじめ防水テープ、シートなどで防水してください。  
取付ビスが十分に効く強度がある下地が必要です。

水平部材はビス(現場手配)で取り付けて下さい。

UC-L15Gは水平部材をビスで固定することも可能です。

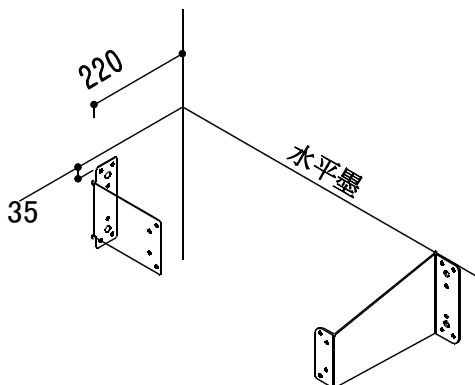


安全性確保のため木ビスと貫通ビス(ボルト)を併用しての取付をおすすめします。  
NI-L15Eの場合はNI-22Bの固定方法をご参照下さい。

## 取付位置について

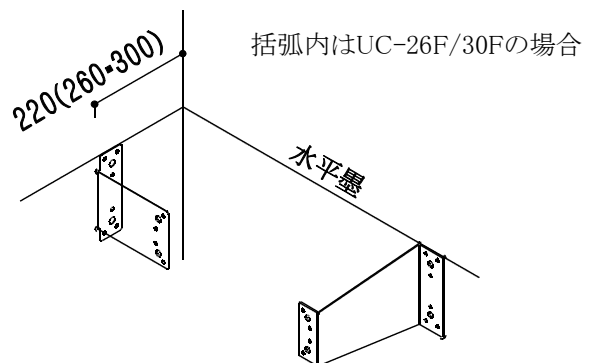
### L型の相手がNI-22Bの場合

建物側の金物天端がL型金物の方が35mm低くなります。



### L型の相手がUC-22F(26F・30F)の場合

建物側の金物天端が同じ高さに取り付けます



製造・販売



原工務店

### 取り付けビス、ボルトは別途です。

現場の状況あった物を施工者様で現場手配してください。

大阪市東住吉区西今川2丁目18番16号  
TEL 06-6704-6223 FAX 06-6704-6277

Z型・コの字型金物 取説2020/10